

第2回 兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた

淡路地域モデルルート推進協議会 議事要旨

1. 日 時 令和元年8月23日(金) 10:00~12:00
2. 場 所 兵庫県洲本総合庁舎5階 多目的ホール1・2
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議 事
 - (1) アワイチ利用状況、サイクリストアンケートについて
 - (2) サイクルツーリズム推進に向けた具体の施策について
 - (3) 今後の進め方について

5. 議事概要

○主な意見

[走行環境整備に関するもの]

- ・急に矢羽根型路面表示を整備すると地元住民から戸惑いの声があがるため、理解を求める情報発信をお願いしたい。
→【事務局】自転車通行空間を整備した場合、地元住民の中には表示の意味を知らない方もいる。市の広報誌や自転車の交通安全の啓発に合わせて周知を図っている。先月整備した淡路市岩屋についても同様に周知を図りたい。

[アワイチ利用状況調査に関するもの]

- ・淡路市郡家は洲本市小路谷の倍以上の交通量を記録している。利用実態としてはアワイチといえど、南あわじ市の灘方面を避けて国道28号でショートカットしていると考えられる。参考までに南あわじ市の交通量についても知りたい。
→【事務局】灘方面は難しい区間であるため避ける方が多いと聞いている。また、淡路市志筑から郡家に抜けている方もいる。曜日特性からも、小路谷は土曜日がピーク、郡家は日曜日がピークとなっていることから、日曜日は半日程度に留めるために、北淡路地域だけを回る方がいると考えられる。今後、詳しく調査していきたい。
- ・利用者がどういったショートカットをしているのかは把握する必要がある。

- ・WEB アンケートで約半数がアワイチの走行性の良さを評価されているが、特別な規制、案内があるからなのか条件などの細かな分析が重要である。
→【事務局】現在サイクリストカフェで実施しているアンケート結果も含め、何が魅力で何が他より劣っているかなど細かい点についても探っていく。
- ・ロングライドでは大型車両の通行規制など一定の条件下で開催しているため、走行性の良さが評価されるのは必然である。平時とイベント開催時とで走行環境の感じ方は違ってくると思われる。ルートについて、アワイチは海外沿いを走るルートとなっているが、地域振興を目指すのであれば洲本市内にルートを通した方がいいのではないかと。ロードレースのように走り抜けるのであればいいが、家族連れをターゲットとするのか、こういったビジョンで取り組むのか。ビジョンによっては、安全対策やエイドステーションなどの施設整備にも関わってくる。
→【事務局】今回はイベント時のアンケート結果を紹介したが、平時のアンケートは現在調査中であるため集計後に紹介する。アワイチについては、海岸沿いを走りたいというニーズが圧倒的に高い。ターゲットについてはショートカットを活用するなど、家族連れを含めた様々なレベルの方に合わせたルート選択が出来るよう施策を進める。
- ・今どのルートを走っているのか分かるようショートカットを含めてコース設定をしっかりと行う必要がある。矢羽根型路面表示については警察も意見があると思うが、現実問題として狭い区間があり、事故が起きていることを踏まえて、実験的に矢羽根を表示することで、事故がどうなるのか、ドライバーやサイクリストの意識変化を調査しながら当面の方針について警察と相談しながら段階的にでも探っていく必要がある。
→【事務局】矢羽根については警察と継続的な協議を進めていく。ナショナルサイクルルートの要件に位置づけられる可能性もあるため、理解と協力を求めていく。

[サイクリスト受入環境の充実に関するもの]

- ・サイクリストの受入だけでなく、南あわじ市においても駐車場不足が課題となっている。駐車場シェアリングシステムなど民間の土地を有効活用し、色々なところからスタート出来るようにしてはどうか。
→【事務局】前回協議会でも同様の意見があり、スタート地点が淡路市岩屋に集中している点は分散化させたいと考えている。岩屋だけでは受入の増加が困難、経済効果が一部の地域に集中してしまうなどの課題があるため、洲本市と南あわじ市にもスタートとなる拠点を設定することは重要な施策と考えている。
- ・淡路島へは車で来られる方が多く、しっかりとした駐車場の整備は必要である。スタート地点ごとでルートの魅力などを広報してゆく基盤を整備していかなければならない。
→【事務局】しっかりとした駐車場や受入施設を整備すれば、スタートの拠点とする方も増えていくと考えている。

[南あわじ～鳴門間の自転車輸送に関するもの]

- ・淡路交通、南あわじ市、鳴門市で定期バスによる自転車輸送を計画していたが、高速隊、本四高速から安全性の指摘がありストップしている。今年度、本四高速にて自転車が高速道路上を走行する事例が多数見受けられているため、安全性の確保を求められている。対策案として、計画箇所を南あわじICのバス停に絞り、県道からバス停への自転車の誘導を多言語化も含めた看板により行うことを提案している。しかし、本四高速が敷地内の看板設置を認めないとしているため、バス停での設置だけでも認めてもらえるよう交渉中。高速隊からはICの出入口から自転車が進入しない対策を求められている。現時点は、洲本バスセンター～小鳴門橋のサイクリングステーション間における自転車輸送を案内しているが、利用はほとんどない。やはり、南あわじICから鳴門市へ渡りたいというニーズの方が高い。

高速道路上の安全対策・周知が大きな課題となるため、高速隊、本四高速にも協力してもらえるような体制づくりが必要と思われる。

- ・負傷者や故障車の輸送については淡路交通の路線バスで現場対応しているが、輪行袋やスペースがないため一般客に迷惑となっている。最低限として輪行袋の持参を周知していただきたい。
- ・施策31と35が該当するように、島内のアクセスについては重要な課題と考えている。どのような対策が可能か検討する必要がある。

→【事務局】自転車の組み立てをバス停で行うことや、協議が整わなければ、バス停や自動車専用道路上での積み卸しについては検討しなければならない。周知徹底で対応できなければ、第一弾は見送るということもある。トラブル対応について、輪行袋の持参は周知するが、輪行袋が無い場合の対応として、バスに積載する、貸出・販売するなど方法を検討する必要がある。

[レンタサイクルに関するもの]

- ・アワイチの南あわじの区間は勾配や曲線が急な箇所が多いため、子供連れの家族にレンタルをする場合は、推奨ルートの提示をお願いしたい。
- 【事務局】レンタサイクルではマナーや乗り方などの注意事項や、危険箇所の周知を進める。

以 上

第2回 兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた
淡路地域モデルルート推進協議会
出席者名簿

日 時：令和 元年 8月23日(金) 10:00~12:00

場 所：兵庫県洲本総合庁舎5階 多目的ホール1・2

<委 員>

区 分	氏 名	役 職 等	出欠
道路管理者	日野 雅仁	国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長	○
	山田 弘	兵庫県県土整備部土木局道路保全課長	○
	小山 健一	兵庫県県土整備部土木局道路企画課長	○
	雨宮 功	兵庫県淡路県民局洲本土木事務所長	○
	太田 久雄	洲本市都市整備部長 (代理：建設課長 高町 直孝)	○
	喜田 憲和	南あわじ市産業建設部長 (代理：商工観光課主査 並木 慶彰)	○
	高田 茂和	淡路市都市整備部長	○
交通安全	衣笠 泰三	兵庫県警察 洲本警察署長 (代理：交通課長 木下 義男)	○
	藤原 孝治	兵庫県警察 南あわじ警察署長 (代理：交通課長 江本 寿)	○
	葉狩 哲幸	兵庫県警察 淡路警察署長 (代理：交通課主任 石本 晴紀)	○
	後藤 忠毅	淡路地区交通安全協会連絡協議会 会長 (代理：事務局長 野口 君枝)	○
観光	吉野 康之	兵庫県淡路県民局県民交流室 参事	○
	永岩 秀俊	洲本市産業振興部 参事(商工観光担当)	○
	新阜 照久	淡路市産業振興部 (商工観光担当) 部長	○
	福浦 泰穂	(一社)淡路島観光協会 事務局長 (代理：観光戦略室課長 土居 正典)	○
交通	森崎 芳文	淡路交通(株) 運輸部長 (代理：業務課長 東根 孝行)	○
	橋本 哲雄	本四海峡バス(株) 常務取締役 運輸部長	○
	清水 紀晶	(株)淡路ジェノバライン 安全統括管理者	○
利用者	原 拓生	淡路島自転車推進協議会 理事長	

(順不同・敬称略)